コロナ自粛明けぱちんご営業施策

~ピンチをいかにチャンスに転換できるか~

株式会社船井総合研究所



2020年5月11日(月)

【ぱちんこ営業関連】

- ①遊技台導入
- ②販促企画
- ③粗利率
- ④営業計画
- ⑤その他施策

【感染症対策関連】

- ①対遊技客
- ②対従業員
- ③対近隣エリア

【ぱちんこ営業関連】

- ①遊技台導入
- □新台台数アップ、優良中古台購入比率アップ
- ⇒旧基準機撤去状況などを加味して、 長期稼働(半年~1年)が見込める中古台のみ導入
- ②販促企画
- □営業再開の認知
- ⇒広告自粛中でも、自店既存客向けに営業再開を認知してもらう
- SMS(ショートメッセージ)、ライン@、ピーワールド、DMM、LP等の媒体を活用
- ⇒プッシュ型からプル型のWEB媒体で企画を告知
 - 例:LINE@で集客案内をこちらから送るのではなく、リッチメニュー活用

【ぱちんこ営業関連】

- ③粗利率
- □「コロナ禍で影響の少ない×自店の長所」部門を強化
- →緊急事態宣言発令前と営業再開後1週間の 自店稼働、市場客数を分析 特に甘デジ、Aタイプ部門の客滞を意識
- ④営業計画
- □市場客数の比較(2月1週目と4月1週目)を行い、カテゴリー別落ち幅を算出
- その数値と昨対同月比をもとに市場予測
- ⇒全国的な動向としては、4円65%、1円55%、20円80%、5円85%
- このデータと自店の落ち幅を比較して微修正

【ぱちんこ営業関連】

- ⑤その他施策
- □常連様が遊技している遊技台を把握
 - →会員データなど顧客データ分析を実施
- □新規会員獲得
 - ⇒営業時間短縮の場合、会員限定遊技延長などを実施
- 口台の間引き
 - →濃厚接触の定義変更に伴い、間引きをしないとクラスターの可能性アップ
 - ⇒ミドルの設置比率減、甘デジ維持、海減、ART減、マイジャグラー維持
- □正確な情報共有
- →濃厚接触の定義、休業要請は各知事の判断などの情報発信

【感染症対策関連】

- ①対遊技客
- □高齢者×高稼働コーナーの間引き
 - →優先順位は原則「高アウトン高粗利」
 - 低稼働台は、間引き用台番号へ移動
- □遊技客へのマスク着用100%
 - ⇒遊技客へのマスク無料配布or景品or来店ポイント交換
 - ⇒小型アルコールの配布
- □カウンター、台間へのビニールカーテン設置
- □入店時、遊技中の1時間に一回のアルコール消毒実施
 - ⇒開店時・離席・非稼働台にアルコール消毒済み札の設置

【感染症対策関連】

- ②対従業員
- □通勤前、通勤後の検温、手洗い、うがいの徹底
- □接客時マスク着用義務化
- □新型コロナウイルスに関する従業員教育
- □感染症対策、感染した際の対応を従業員本人と家族へ説明
- ③対近隣エリア
- □マスク付の手紙郵送
- □マスク・アルコール液の寄付、販売
- □駐車場の移動販売、テイクアウト飲食店への無料開放

提供パートナー企業 (株)CFY



社内に感染者が出た場合

- 1. 営業停止+従業員出勤停止(2週間)
- 2. 社員同士の濃厚接触の調査
 - •本部⇔店舗、店舗⇔店舗の禁止
 - ・本部で出た場合、全店停止の可能性
- 3. 店舗消毒(2~3日)
 - ・感染が増えてくると、消毒期間がもっと伸びる可能性
- 4. 正確な情報の公開
- 5. 感染時の会社としての保証、対応

自粛要請解除、休業明けにすべき財務戦略

有事→平時に戻ったら

何をいつまで	平時		方 車	
	これまで	これから	有事	
いつ	借りられるときに借りておく	必要なときに借りる	すぐに借りる	
いくら	借りられるだけ借りる	必要な分を借りる	現預金を月商の6ヶ月分	
いつまで	なるべく長く借りる	適正な期間で借りる	なるべく長く借りる	
どうやって	毎月返済する	毎月返済するものと しないものを使い分ける	緊急借入分は毎月返済する 枠はそのまま残す	
担保	必要	必ずしも <mark>必要ではない</mark>	現預金の確保に必要な分のみ※普通抵当	
個人保証	必要	必ずしも必要ではない	現預金の確保に必要な分のみ ※個別保証	

無料経営相談申込はコチラ!



まとめ

- ✓ 営業計画の見直しを行い、現状を把握した上に 今後の営業方針を明確に示す。
- ✓ 自粛明けは自社自店の長所伸展の営業のみを行う。 そして、地域で一番「安心安全」を訴求する。
- ✓ 一次情報・最新情報を得ることが今後は重要。
- コロナ前の営業では勝ち残れない可能性が高いため、
- 一時的にでも、アドバイザリー・コンサルタントを上手 に活用を行う。